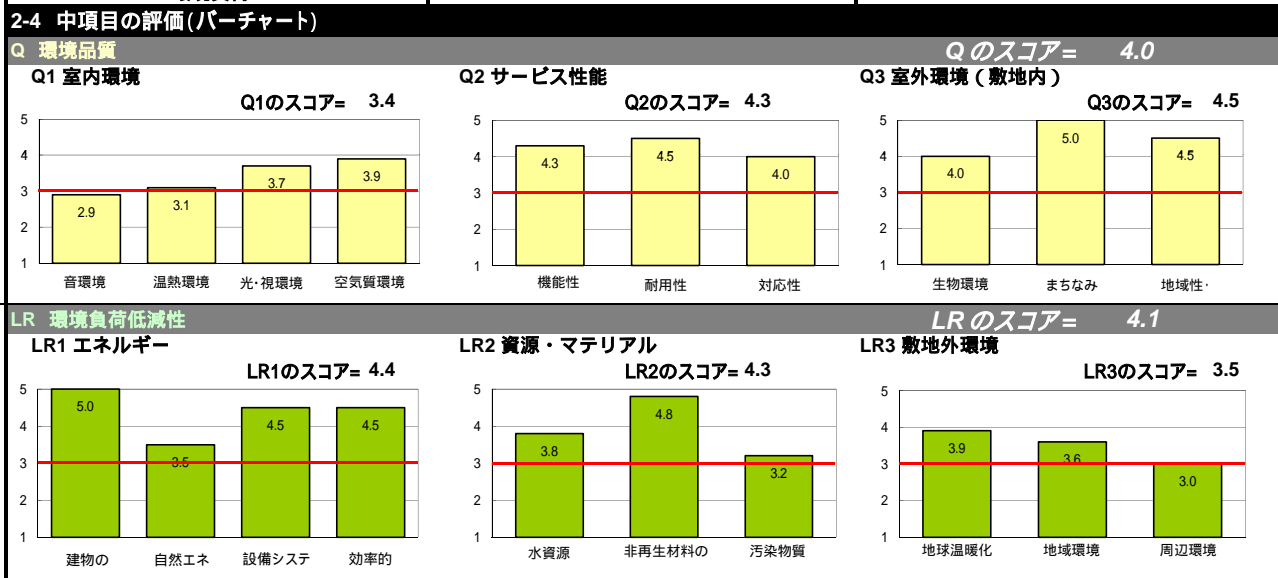
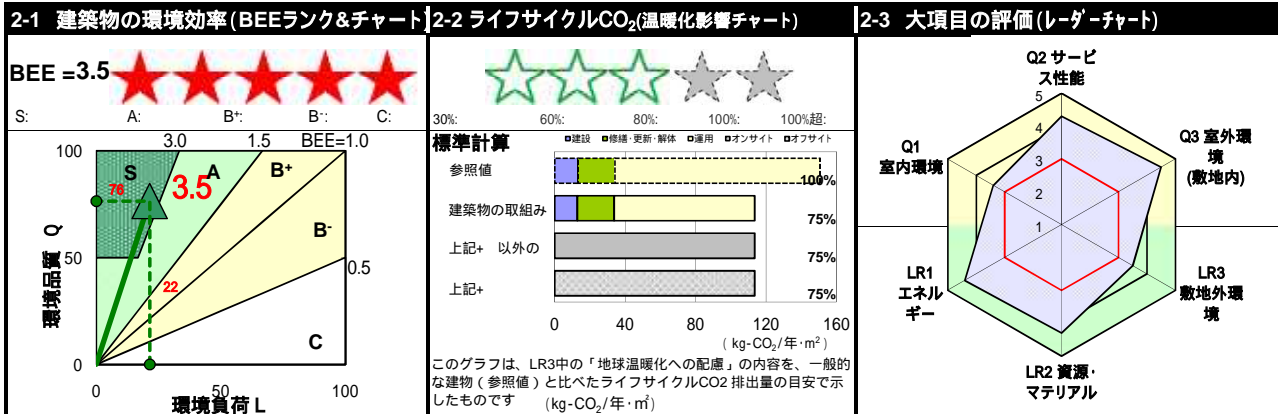


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	藤沢市民病院 新東館	階数	地上9F
建設地	藤沢市藤沢2丁目1920番1ほか	構造	RC造
用途地域	第1種住居地域、準防火地域	平均居住人員	1,000 人
気候区分		年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年9月 予定	評価の実施日	2013年10月1日
敷地面積	39,712 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社 日本設計
建築面積	4,635 m <sup>2</sup>	確認日	2013年10月1日
延床面積	30,225 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社 日本設計



### 3 設計上の配慮事項

総合		その他
ゆとりのある配置計画、十分な緑化、高性能な外壁や設備による省エネルギーへの配慮等、総合的に高いレベルで環境に配慮した施設計画。		
<b>Q1 室内環境</b> 空調はゾーン毎に冷暖房の切替が可能。また室毎に冷暖房要求に応じられるよう冷暖フリータイプを採用。換気量を30m <sup>3</sup> /人として算定。全館禁煙を採用。	<b>Q2 サービス性能</b> 浴室、厨房、外部露出が外の90%以上に「R」材を使用。主要な用途(給水VLP、汚水雑排水VP、通気VP)にB以上を使用。機械・配管支持方法を耐震カス・Aで対応。浸水対策として電源・通信設備主装置を地上階に設置。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 敷地面積の20%を緑化し、更に中低木を多く植栽。冷却塔及び室外機、高温排熱排出部(煙突)は全て屋上(GL+23.9m、GL+36.4m)に設置。
<b>LR1 エネルギー</b> PAL: 219.4MJ/m <sup>2</sup> 年、CEC/AC: 1.89、CEC/V: 0.61、CEC/L: 0.48、CEC/HW: 1.59 2層吹き抜け全面ガラスの自然光あふれるかわせみホール。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 節水型器具の利用、雨水利用。既存建物の一部を貯水槽として利用。躯体と仕上材に再生材料を使用。有害物質を含まない材料を利用。	<b>LR3 敷地外環境</b> ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出量が、一般的な建物に比べ75%。敷地面積の20%を緑化。十分な駐輪スペースを確保。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
**Q:** Quality (建築物の環境品質)、**L:** Load (建築物の環境負荷)、**LR:** Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、**BEE:** Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される